

開催協議会名	令和6年第3回 安来警察署協議会		
開催日時	令和6年9月24日（火）14時00分から15時30分まで		
出席者	公安委員	原田公安委員	
	協議会委員	5人（葦原会長、加納副会長、太田委員 黒川委員、畑委員）	
	警察署	4人（署長、副署長、生活安全課長、総務係長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	ながら見守りの推進
		説明概要	人口減少、高齢化、ボランティア希望者の減少という問題を踏まえ、将来継続的に見守り活動をどのように行っていけば良いのか意見を伺いたい。
		答申(意見等)	<p>1 見守り活動でどのような活動ができるかといったアクションプランのようなものを例示していただくと分かりやすい。</p> <p>朝晩の声かけなど、ささいなことでも様々なことで防犯の役に立っているということが感じられ動機付けになるような事を考えていくべきではないか。</p> <p>2 能義校区は、市街地と異なり、2キロ近く家が一軒もないところを小学生が通学しており、ながら見守りも難しいうえに防犯カメラも田畑の中にはない。最近は圃場整備が進み作業が機械化され田畑に誰もいないところを帰っている。こういった場所で、どのように見守りをしていくか考えていく必要がある。</p> <p>3 島田地区は、小学校への登下校時間帯については、地域の方々も畑仕事などで外に出ている方も比較的多く、声を掛けやすいのではないか。</p> <p>4 布部地区は山間部で、登校時は、ボランティアの方だけでなく、通勤の車の方も含め色々な方が、見守りをしてくださるが、下校時</p>

は車も少なく、なかなか見守りが難しいこともあり、特に小学生の下校時が心配である。

5 広瀬町での見守り活動には、地域安全推進員や防犯パトロールのボランティアの方々が参加しているが、日々通る道での気づきが重要であるとする。地域企業の賛同を得ることができれば見守りの目も多くなり心強いと感じる。

農作業や犬の散歩の時間を登下校の時間にずらしてもらおうよう、地域に根付いた情報発信をしていただきたい。

【警察】

普段の生活の時間を下校時間にずらしてもらうなどは、有効なのではないかと感じた。

このための呼びかけをという委員の御意見を踏まえながら協力してもらえよう取組をしていきたい。

【一日警察署長・ネゴシックス氏】

見守り時に声を掛けると、子供に怖がられたりすることもあるかと思うが、不審ではない「声かけますシール」などで分かるようにしても良いのではないだろうか。

【一日警察副署長・奥村氏】

ながら見守りがあまり知られていない。

安来では積極的に見守り活動を行っているということを外県に向けて情報発信していくことで不審者側にも伝わり、犯罪等の抑止になるのではないかと。

諮問事項

採用募集活動の推進

説明概要

今後、警察官採用試験の受験者を増やすにはどうすれば良いか意見を伺いたい。

答申(意見等)

- 1 各種大会で活躍した警察官について情報発信することで、若い方に思いを伝えるようなPRができると思う。
- 2 他業種から島根県の警察官に転職した方の

		<p>親御さんから、会社の一歯 車だった頃とは違い、非常にやり甲斐を感じていると聞いた。警察官は、20代しかないと考えている方も多いと考える。転職するきっかけをつくるためにも35歳まで募集しているということを広めてほしい。</p> <p>3 若い職員の離職者も毎年一定数いるということに関して、最近の若い方は、転職に抵抗がない。採用だけでなく、離職防止も考えていく必要がある。</p> <p>4 警察業務を実際に体験すると興味が湧くと思う。</p> <p>5 各委員の言われるとおりの警察業務の体験などを通じて、警察に興味を持ってもらう必要がある。また、別業種からの転職につながる働きかけができるような取組をしていければ良いと思う。</p> <p>【一日警察署長・ネゴシックス氏】</p> <p>SNS等を活用し、一人一人が自分の取組を随時気軽に発信できれば、皆さんにも警察の活動や魅力が届きやすいのではないかと考える。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>○ 署長挨拶</p> <p>前回の警察署協議会で、「高校生の自転車ヘルメット着用に向けた取組を」という意見があったので、管内の高校にヘルメット着用を校則に規定してもらうよう依頼した。</p> <p>引き続き幅広い年代に対して広報するとともに、街頭活動を通じてすべての自転車利用者のヘルメット着用推進に向けて取り組んでいく。</p> <p>○ 一日警察署長に任命したネゴシックス氏、一日警察副署長に任命した奥村隼也氏も警察署協議会に参加。</p> <p>○ 将来警察官を目指す職場体験学習に訪れた中学生1名も参加。</p> <p>○ 原田公安委員の総括</p> <p>高校生のヘルメット着用に向けた取組、ながら見守りについては、まず現状・実情を地域の皆さんに知ってもらい、少しずつ理解や協力を得ていく必要むがあると感じた。</p> <p>地元の企業、学校、公民館など色々な方々に現状を伝えれば、ながら見守りの時間の協力も得やすくなるのではないかと考える。</p>	

採用募集活動などに関する意見も、引き続き様々、伺いながら、
色々な施策にすぐに反映させていくことができれば良いと考える。

写真

○会長挨拶



○署長挨拶



○公安委員挨拶



○一日警察署長(ネゴシックス)



○諮問の説明状況(署長)



○開催状況

